

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 42213

区分	イベント	担当課	スポーツ・文化振興課		作成日	H24.5.24
事業名	町民みなふれあい体育大会		開始年度	平成元年10月	予算科目	9.5.1.3.3

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ				
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり	章	第2章 活発で個性豊かな文化づくり	
節	第2節 スポーツ・レクリエーション活動の推進	基本施策	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
取組みの基本方向		(3)駅伝大会などスポーツイベントの充実をはかるとともに、地域でのスポーツ行事の振興につとめます。		
根拠法令等				
目的 (誰・何を対象に、何のために)		町民みなスポーツの町宣言の趣旨のもと、町民一人ひとりが生涯をとおしてスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくるとともに、競技を通じて町民相互の交流、地域の絆を深め、子どもからお年寄り、また地域ぐるみで参加できる行政区対抗の町民運動会を開催する(スポ・レクとの隔年開催)。		
内容・方法 (何を行っているのか)		21行政区対抗により、親子輪投げ競走、玉入れ、綱引き、ふれあい対抗リレーなど、子どもからお年寄りまで気軽に参加できる9種目で実施する。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『スポーツ・レクリエーション活動の推進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		36.7		42.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H20年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	体育大会参加者数(人) ※平成22年度は中止であったため見込み(平成20年度の参加者数を出場者数で除した数値を係数とし、平成22年度の出場予定者数に乗じて算出)	増	参加者が増えれば大会も盛り上がり、町民相互の交流もさらに深まる。	計画値		2,500	—	2,000
				実績値	1,980	2,500	—	
				達成度※自動計算		100.0	—	
活動指標	競技数(競技)	増	町として参加者数との兼ね合いのなかで競技数を確保し、より多くの方に出場していただくことから、指標とするもの	計画値		9	—	9
				実績値	9	9	—	
				達成度※自動計算		100.0	—	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度			基準年度(決算) (H20年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)			4,375,577	4,034,031	隔年開催のためなし	3,800,000
(B)概算職員数(人)			0.500	0.500	0.000	0.500
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			4,150,000	4,150,000	0	4,150,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			8,525,577	8,184,031	0	7,950,000
単位当たりコスト ※自動計算			4,305.8	3,273.6	0.0	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源 ※自動計算		8,525,577	8,184,031	0	7,950,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目		判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性	直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 低	B
	必需性	当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している		○	A
	基準年度と比較して成果が向上している		○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している		向上 成果 率 126.26%	A
			縮減 費用 率 95.99%	
総合評価			※自動判定	
			良好に実施できている	

5. 特記事項

本大会は、2年に一度に町民が集まって行う町民運動会であり、近隣市町村でもこのように市町村民が一同に会して行う運動会は少ない。また、東日本大震災を契機に地域の絆の重要性が再認識され、また求められている中で、自治会単位が一つになり、親睦交流を深める機会となる。参加にあたっては、各行政区が選手を取りまとめているが、行政区によっては区役員やその周辺の関係者が多く、参加者取りまとめに苦慮しているため、今後も競技種目を気軽に参加できるレクリエーション的なものに見直したり、町民が、日頃、スポーツに触れることにより、もう少し興味を持った一般参加者が増えるものと考え。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☒ 廃 止
理由	・行政区によっては、競技参加者のとりまとめが負担となっている。 ・地域交流を重視したレクリエーション的競技種目を取り入れていくことが求められている。		
今後の方向性	本大会は、町民みなスポーツの町宣言施策のもと、スポーツを通じた地域交流を深めることを目的として開催しているが、行政区対抗により、順位付けをするなどまだまだ競技志向が残っているため、町民のふれあいを重視するレクリエーション的な要素を含む競技を取り入れていくことが求められている。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のほか、区長会の意見を踏まえて実施すること。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

本事業については、隔年実施のため、予定では平成26年度に開催することとなるが、改善の手法については、大会終了後に各行政区長をはじめ、幅広く参加者に対してアンケートを実施し、改良点や反省点などの意見をいただき、その結果を踏まえ、それらの意見を取り入れていく。現状は、行政区単位で参加選手を集め、行政区対抗としているため関係者からは選手の取りまとめに苦慮しているとの意見もある。今後は、競技志向の強い種目から、極力、子どもからお年寄りまで、参加者皆が楽しめる大会となる内容(スポーツレクリエーション的要素を含む)に改めていきたい。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由・改善方針	平成26年度に開催を予定する大会から在り方を見直す。見直しにあたっては、今年度の町民みなふれあい体育大会実施を踏まえたアンケートを早急に実施するほか、区長会の意見を聴き、改善内容を検討するものとする。また、アンケートの実施にあたっては、参加しなかった人の意見も聴くものとする。		